

令和5年度  
座間市姉妹都市中・高校生交流事業  
事業報告書

座間市



# 目次

	頁
1. 座間市長 挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 座間市スマーナ交流委員会委員長 挨拶・・・・・・・・	2
3. 行程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4. 国際親善大使 報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5. 随行員ホスト 報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
6. Photo Album・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11





## 新型コロナウイルス感染症を乗り越えて

座間市長 佐藤 弥斗

Mayor of Zama City

Mito Sato

ようやく、相互交流の再開にこぎつけることができました。  
令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、対面交流が叶わない状況が続いていましたが、本年4月に入国制限が撤廃されたことを受け、事業の再開を決定しました。

令和3年に来日できなかったスマーナ市生徒をお迎えし、私が市長に就任して初めて、対面交流ができたことを大変嬉しく思います。

米国テネシー州スマーナ市とは、平成3年（1991年）に姉妹都市提携を結び、平成9年から中学生・高校生の派遣及び受入れによる交流を相互に行ってきました。そして、平成28年からは、両市の青少年の将来に資する事業とするため、教育委員会としての英語教育や生徒指導の下、「研修・派遣・受入」の3年ワンサイクルとし、この事業に参加する座間市の中・高校生に「国際親善大使」の冠を付け、座間市民の代表であることを定義づけています。

令和2年にスマーナ市へ派遣予定であった国際親善大使2期生は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、派遣・受入が叶わないまま3年の任期を終えましたが、今回の12日間の特別プログラムを絶好の実践機会と捉え、国際親善大使2期生に各プログラムへの参加やホームステイ先になることについてご協力をお願いしました。

12日間という限られた期間でしたが、両市の生徒と一緒に楽しみながら箏や書道体験をしている姿や、参加出来たことの喜びと事業に関わったすべての人への感謝の言葉、これからもホストファミリーと継続して連絡を取り合いたいとフェアウェルパーティーでスピーチをしている姿を目の当たりにし、単なる交流だけではなく友情という強い結びつきが生まれていると感じました。

スマーナ市との交流の礎を築いていただいた座間市国際交流協会の木村会長をはじめ、スマーナ市生徒を温かく迎え入れていただいたホストファミリーの皆様、そして、この事業に関わってくださっているすべての皆様に心より感謝申し上げます。

令和3年には、姉妹都市締結30周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症を乗り越え、早期に相互交流の再開にこぎつけたことで両市が団結し、新たな絆を結ぶことができたことを捉えています。

座間市にとって、スマーナ市という心温く素晴らしい交流の相手がいることを改めて誇りに思い、今後もこの友情を大切に育てていきたいと考えています。



## ご挨拶



座間市スマーナ交流委員会委員長  
木村 功

Zama Smyrna International Exchange Committee

Chairperson Isao Kimura

8度目となる受入交流は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従来であれば3年ごとに行われていましたが、5年振りとなりました。

そんな状況下にもかかわらず、両市で事前に調整した全ての日程をスムーズに滞りなく進めることが出来ました。改めて関係者並びに御家族の皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。

フェアウェルパーティーで、スマーナ市生徒の一人から「この訪問を5年間待ち続けていました。」とのスピーチがありました。世界中の人々が何らかの影響を余儀なくされ、スマーナ市生徒と国際親善大使2期生も例外ではありませんでした。スマーナ市生徒にはプログラムに参加するための年齢制限があり、5年の歳月の影響もあって、今回の訪問団は、学生の派遣者4名、随行者2名の少人数の構成となりました。国際親善大使2期生は、スマーナ市への派遣が叶わない中、大使としての任期を迎えることになり、両市の生徒達の気持ちを察するとあまりに切なく、心が痛みます。

スマーナ市のある生徒は「大人になったら日本で生活することを考えている」と夢を語りました。この交流事業が、生徒達に大きなインパクトを与えているのだと思います。一方、国際親善大使2期生は、3年間の研修で多くの知識や経験を得て、修了式では自信に溢れた姿に変貌しており感心させられました。また、今回のスマーナ市訪問団を受け入れるにあたって、修了した2期生20名のうち4名がホストファミリーとして参加してくれると聞き、大変頼もしく感じました。

今では、国際親善大使の研修には教育委員会の全面的なバックアップを得て万全の体制が構築され、平成9年から始まった青少年の交流事業は揺るぎないものとなり、市民の皆様の認知度の向上も図られています。

この様に青少年の交流事業は充実した姿になりましたが、姉妹都市との一層の交流の発展を期すためには、以前参加した生徒達や関わってくれた関係者、そして教育の現場の先生方など青少年だけに限らない大人も含めた幅広い交流を実現することが望まれます。



## 令和5年度 座間市姉妹都市中・高校生交流事業 行程表

日付	曜日	集合時間	解散時間	予定	場所	備考
7/16	日			空港到着(15:00)後、海老名へ	成田空港第2ターミナル→宿泊先のレンブラントホテル海老名	アメリカン航空61
7/17	月	10:30	13:00	(11:00～13:00) ウェルカムレセプション	みんなのやまちゃん (座間市役所ふれあい会館1階)	
7/18	火	9:45	16:15	(午前)学校体験1日目 (午後)日産座間見学	ひばりが丘小学校 日産ヘリテージコレクション	
7/19	水			(午前)学校体験2日目 (午後)引き続き学校体験またはスポーツアクティビティ	スマーナ生徒はホスト生徒在籍校へ スポーツアクティビティはスカイアリーナ 座間で13:30～	
7/20	木	9:00	16:30	(午前)キャンプ座間見学 (午後)日本文化体験【華道・茶道】	キャンプ座間 ハーモニーホール座間	キャンプ座間内で昼食
7/21	金	8:45	16:30	(午前)市役所、消防署見学 (午後)日本文化体験【箏・書道】	座間市役所、消防本署 ハーモニーホール座間	消防本署内で昼食
7/22	土			ホストファミリーと過ごす日		
7/23	日			ホストファミリーと過ごす日		
7/24	月	9:00	15:45	座間市ツアー	81会議室(座間市役所ふれあい会館2階) 座間市内	
7/25	火	6:45	18:00	東京案内	浅草寺、東京スカイツリー、水上バス、浜離宮恩賜庭園	
7/26	水	17:30	20:00	(18:00～20:00) フェアウェルパーティー	みんなのやまちゃん (座間市役所ふれあい会館1階)	
7/27	木	9:20		帰国(17:20出発)	座間市役所→成田空港第2ターミナル	アメリカン航空8408

# 「足りない時間」

## 国際親善大使

### 1 スマーナ市生徒との一番の思い出

自分の1番の思い出は最終日の2日前に小田原城へ行ったことです。本丸があった広場では自分とスマーナ市生徒で侍のコスプレをして、一緒に記念撮影をしました。また、そこで、優しい外国人の方が集合写真を撮って下さいました。

天守閣へ入ると地域を一望できるその景色はとても美しかったことが自分の1番の思い出です。



### 2 受入期間を通じて学んだ文化や考え方の違い、共通点

自分が学んだ文化や考え方の違いは、スマーナ市生徒があまり朝食を取らなかったことです。日本のほとんどの家庭は朝昼晩の3食を食べますがアメリカではほとんど朝食を食べないということです。

逆に共通点は、お互いを理解しようとする気持ちです。

### 3 この事業を今後もよりよく継続していくために

この訪問団の受入プログラムに参加した全ての国際親善大使とスマーナ市の生徒の間でコミュニケーションや連絡をもっと取れるといいと思います。

### 4 次の国際親善大使へのアドバイス

英語が苦手、上手く話せないと思っている人も気にせずに自分から伝えに行くということです。

自分から伝えに行けば相手はそれを聞いてくれているし、伝えようとすればちゃんと伝わるので、緊張せずにコミュニケーションをとること。



## 「10日間の思い出」

国際親善大使

### 1 スマーナ市生徒との一番の思い出

部活動の軽音部の活動で自分達の初めての演奏をして、とても好評だったこと。

ドラムの迫力が凄かった。

(スマーナ市生徒ドラム歴6年)

### 2 受入期間を通じて学んだ文化や考え方の違い、共通点

寿司などがやっぱり苦手だったり、食文化が違ったこと。

ゴミの分別の文化がないこと。



### 3 この事業を今後もよりよく継続していくために

事前準備をもう少し徹底していただくと、こちら側が助かります。

### 4 次の国際親善大使へのアドバイス

意外と知っている英語だけで理解ができます。

あきらめずにしっかり聞き取ることや、身ぶりなどで会話することが大切です。



## 「貴重な経験」

### 国際親善大使

#### 1 スマーナ市生徒との一番の思い出

アメリカ版のあっちむいてほいや日本語のじゃんけん、トランプやUNOなどのカードゲームをしたことが1番楽しかったことでした。その他にも江ノ島や東京に観光に行ったのも思い出に残りました。



#### 2 受入期間を通じて学んだ文化や考え方の違い、共通点

慌てて玄関からものをとりにいくときに靴のまま家に入ってしまったことくらいでそこまで文化の違いは感じなかったです。礼儀正しかったのが共通点だと思いました。



#### 3 この事業を今後もよりよく継続していくために

もう少しやりたいことがあったので、あと一、二日くらい家族と過ごす日がほしかったです。あと、部活動体験のときに保険の関係で体験ができなかったのが残念でした。

#### 4 次の国際親善大使へのアドバイス

3期生の方たちは受け入れだけじゃなくて渡航もできると思います。渡航すると周りの音が全部英語ですごく大変だと思うので英語の勉強をがんばったらいいと思います。あとは活動を楽しむことが大切だと思いました。





## 「座間市姉妹都市中・高校生交流事業」

国際親善大使

### 1 スマーナ市生徒との一番の思い出

週末の時間一緒に観光したり、買い物に行ったり楽しんだ事。  
お揃いのプレスレットを買った。

### 2 受入期間を通じて学んだ文化や考え方の違い、共通点

お互いシャイでそこまでのコミュニケーションが取れず、今回の期間の中では学べませんでした。

### 3 この事業を今後もよりよく継続していくために

私も途中体調が悪く、参加できない日が出てしまいましたが、できる限りこの事業を優先できる人が選ばれるといいと思います。



### 4 次の国際親善大使へのアドバイス

私はできませんでしたが、親善大使同士のコミュニケーションを多くとったり、積極的に関わる姿勢があるとより良い事業になると思います。



## 「新しい発見」

### 随行員ホスト

#### 1 スマーナ市随行員との一番の思い出

20年来の友人ではありましたが、ホストファミリーになったのははじめてでした。

仕事や随行で来日回数も多く、日本文化の理解度も高い人なので、そんな彼に今回の我が家のホームステイで、どう過ごしてもらったら良いのだろうと初めは少し緊張もしましたが、日がたつにつれて、真面目で口数が少ないといった今までの印象が少しずつ変わっていきました。

時差ボケで、朝起きてくるはずのない時間にシャワーを浴びようとして、給湯の電源が分からず水シャワーを浴びた日も、「目覚めが良くて良かったよ」とか、薬を飲む際にサイダーで飲んでダメと言ったのに忘れて飲んでしまい睨んだ私に、まずい!!といった顔で「ごめん」と言った時の彼のお茶目な顔が印象的でした。こんなに話もするし、こんなにチャーミングな笑顔を見せる人なのだという事は、新しい発見でした。



#### 2 文化や考え方の違いや共通点について

どちらかという合理的な人だと思います。アメリカと日本文化の違いは違いで認めたくえて、良いところは積極的に取り入れようという考えの人のように思います。共通点は、孫が可愛くて仕方のないところでしょうか。

#### 3 この事業を今後もよりよく継続していくために

経験者や関係した人の意見を聞いて、良かった点や改善点を分析することと、スマーナ側と対話の機会を多く持ち、お互いの意見をすり合わせていくことで、次回以降につながっていくように思います。また、縁あって出来た絆を大切にしたいですね。

#### 4 次の国際親善大使や随行員ホストファミリーへのメッセージ

会話だけでなく、筆談でも、スマホの翻訳を駆使してでも、とにかくコミュニケーションを取ることが、大切だと思います。伝えなければ伝わりません。当たり前の事ですが、はじめはお互い緊張していたりはすかしかつたりしますが、どうかして相手にわかってほしい、相手の事をもっと知りたいという気持ちがあったら、きっと心は通じると思います。随行員は、大人ですが同じです。また、お客様扱いは、お互い疲れるだけだと思います。

# 「スマーナ市随行員との思い出」

随行員ホスト



## 1 スマーナ市随行員との一番の思い出

ホストファミリーと過ごすフリーの週末で彼女と出かけた熱海の温泉旅行が一番の思い出です。とても暑かったですが、小田原城見学、小田原漁港でのランチ、熱海散策も楽しめました。

座間に帰ってからは、高齢の私の両親の家に立ち寄りいただき、昼食と一緒に食べました。彼女自身もお母さんと一緒に暮らしているということで、私の母が張り切って準備をした食事を喜んで食べてくれました。

また、今回一緒に参加されていた息子さんのホストファミリーと連絡を取り合って、ある日は夕食を食べたり、フェアウェルパーティー前にはみんなで浴衣の着付けをしたり、私にとっても彼女にとっても、子供たちが集まってにぎやかなひとりで、とても楽しく思い出に残りました。

## 2 文化や考え方の違いや共通点について

文化の違いを感じることはあまりありませんでした。

彼女はなにでもチャレンジ、どんな食べ物も「I will try.」と言って、まず食べてくれました。

また、毎日、朝と夜に我が家の近所をよく散歩して、積極的に座間の街と人に親しみ、好奇心を持って色々な街の風景の写真をお土産に帰ってきて、私たちにを見せてくれました。

好奇心旺盛なところや動物好きなど、彼女と私の考えには共通する点が多くあったと思います。

## 3 この事業を今後もよりよく継続していくために

今回は、コロナ禍が続いたこともあり、来日したスマーナの子供たちも少なく、市役所の事務局側も行事の構成に苦労されたことと思います。最近では学校ごとに夏休み開始日が違ったり、各学校の行事も様々で、日米の生徒やホストファミリーが同行するお出かけ日程が組めなかったかと思います。しかし、随行員と親善大使のホストファミリーも参加する合同のお出かけ行事があると、共通の思い出にもなるかと思います。自分以外の訪問団の方たちとの交流、日本の受け入れ家族同士の交流も、この事業の意味を後の人に伝えていくために有効な方法に繋がると思いました。

また、スマーナの子供たちが親善大使の学校に個々に訪問するよりも、訪問団の子供をまとめて市内の中学に体験に行かせたほうが、「今、姉妹都市から訪問団がきているんだ、みんなで歓迎しよう」という気持ちが市民の方たちに広がるかもしれません。

市内に友好的に受け入れられる事業として、今後も継続できるとよいと願っています。

#### 4 次の国際親善大使や随員ホストファミリーへのメッセージ

親善大使の方に対しては、英語やプレゼンのスキルアップだけでなく、事業をきっかけに座間市の歴史や魅力を知ってふるさと愛もアップさせてもらいたいと思います。

またホストファミリーの方たちに対しては、この事業に関わることで、ホストファミリー同士で助け合ったり交流したりして、思い出を共有できる友人が作れますから、横のつながりもぜひ大切にしてほしいと思います。





# 7/17 (月・祝) ウェルカムレセプション

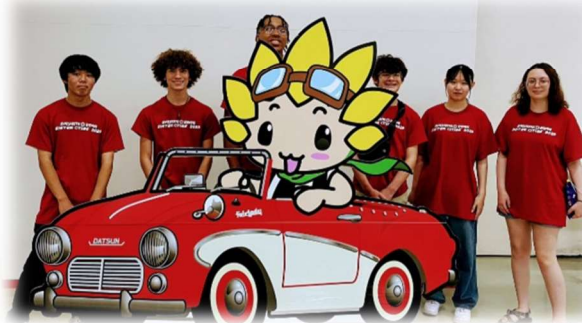


# 7/18 (火) 学校体験①・日産見学

## ひばりが丘小学校



## 日産ヘリテージコレクション



# 7/19 (水) 学校体験②・スポーツアクティビティ

## 高校体験



## スポーツアクティビティ





# 7/20 (木) キャンプ座間見学・日本文化体験①

## キャンプ座間見学



## 華道



## 茶道



# 7/21 (金) 市役所、消防見学・日本文化体験②

## 座間市役所



## 消防庁舎



書道



伝統楽器（箏）



7/24（月）座間ツアー



# 7/25 (火) 東京案内

浅草寺～東京スカイツリー～浜離宮恩賜庭園



# 7/26 (水) フェアウェルパーティー



記念品交換



座間市からスマーナ市へ  
チューリップポプラ、両市の市旗、  
ざまりん、姉妹都市友好のロゴが  
縫われたタペストリー



座間市長からスマーナ市長へ  
着物の帯で作られたアート作品



スマーナ市長から座間市長へ  
ひまわりとアイリスが描かれた  
ジッパーアート作品



スマーナ市から座間市へ  
ザマパークが描かれた絵画

7/27 (木) スマーナ訪問団 帰国



Friends Forever!







---

座間市 総合政策部 人権・男女共同参画課

住 所 〒252-8566  
座間市緑ヶ丘一丁目1番1号  
TEL 046-252-8035